

弘前大学学報



弘前大学から眺める岩木山

第 70 号
平成22年 1月号

学内ニュース

- 平成22年 学長の年頭挨拶 ----- 1
- 平成22年度大学入試センター試験実施 ----- 3
- 教育に関する表彰式を実施 ----- 4

諸会議

----- 7

人 事

- 人事異動 ----- 10

主要日誌

----- 12

学内規則

----- 13

- 国立大学法人弘前大学職員給与規程の一部改正

平成22年 学長の年頭の挨拶

新年あけましておめでとうございます。

大晦日から正月三が日にかけて大雪が降りましたので、雪国らしい津軽の正月を迎えることができました。皆様も希望に満ちた新年を迎えられたことと思います。教職員の皆さんには、弘前大学の発展のため、今年も御健勝の上、力を尽くされるようお願い致します。



平成22年の年頭に当たり、今年一年の本学の課題と、本年4月から始まる第2期中期目標・中期計画の展望と期待を述べたいと思います。

それに先立ち、私は昨年、本学の学長選考会議により、本年2月1日から向後2年更に学長を務めるよう推挙され、現在文部科学省において手続きが進められております。したがって、2月1日以降、学長の任を継続し、本学の発展のため2年間尽くしますので、教職員の皆様には挙げて御協力・御支援をお願い申し上げます。

さて、国立大学法人化後の、第1期中期目標・中期計画の文部科学省の最終評価判定結果は、まだ示されておりませんが、一応中期目標・中期計画が達成されたとの評価が得られるものと思います。第2期中期目標・中期計画の開始の時期に、本学では学長の交代時期と重なることから、全教職員の意見を反映するボトムアップ方式の第2期中期目標・中期計画策定会議において、第2期中期目標・中期計画が策定されました。

したがって、第2期中期目標・中期計画の達成と、それに基づく本学の発展については、本学の教職員が等しく責務を担っているとの自覚をもって、第2期中期目標・中期計画に臨んで欲しいと、強く念願するものであります。

幸い第1期中期目標・中期計画期間中に、第2期中期目標・中期計画の前文にも記載された通り、地域に根ざしたエネルギー、環境、緊急被ばく医療等を柱として据えうる程に、教育と研究の基盤整備が進み、教育、研究と社会貢献のレベルの向上があり、キャンパスの整備が見られました。それらの結果については、学外の方々の注目の的であり、そのことは昨年11月のインターネット上の全国国公立大学約770校中、本学が最も注目度の高いナンバーワンの大学としてランクされたことから、伺い知ることができます。

私達は、この第1期中期目標・中期計画における実績を足場として、第2期中期目標・中期計画期間中、一層激しさの増す大学間の競争と淘汰にうち勝ってゆかなければならないことは明らかであります。

しかし、国立大学を取り巻く状況は、今後益々厳しくなっております。全国的少子化による入学志願者の減、それによって引き起こされる入学者定員割れが加速化しております。昨年暮れの新聞によりますと、平成22年度の私立大学学生募集において、従前の募集停止に加えて更に5大学の募集停止が加わり、その他募集定員を削減した大学のあることも報じられています。この少子化による入学者定員割れは、必然的に私立大学のみならず国立大学の入学者定員削減、学部の統廃合等が求められ、国公私立大学間の激しい競争と淘汰が引き起こされます。政府の諮問会議の参考資料によれば、本学は、統廃合の対象となる大学のカテゴリーに入る大学のひとつとされており、これに対する十分な対応が、これから絶対に必要となっております。

一方、我国の政府の交代により、遅れていた来年度の政府予算の大綱が、年末になってようやく見えてきました。基本的枠組みは、国の大幅な税収減と与党のマニフェストの実現のために、高等教育主要予算の削減が示されました。

特に、高等教育主要予算の中の国立大学運営費交付金と、大学教育の質の保障と教育研究拠点にかかる経費との削減が、平成22年度政府予算案に示されています。このことは、依然として運営費交付金の年1%の減額と研究拠点経費の減額の上に、その配分の見直しがなされることを示しており、平成22年度予算は、地方国立大学にとりまして、一層厳しさの増すことを覚悟しなければなりません。

更に、政府に直結している国家戦略会議及び行政刷新会議は、独立行政法人と同時に、国立大学法人の見直しを進めようとしております。この中で、国立大学法人に特に強く求められることになるものは、国立大学法人のガバナンスの見直し、即ち管理運営組織の簡素化及び効率化を進めることにあります。このため、第1に国立大学法人の意志決定のあり方、第2に事務体制の見直し、そして第3に学内資源の再配分方法の検討が求められると予想されています。

国立大学は、国立大学法人化したことによるメリットがあったとも云われます。確かに本学では、基盤整備・環境整備が急速に進みました。しかし、学内の管理運営・教育研究において、旧国立大学としての意識が払拭されず、しかも我々が、競争と淘汰の真只中にあることを十分に理解されてはいないと思われることもあります。したがって、本学としては、平成22年内に国立大学法人組織のあり方や教育・研究の推進について見直す必要があると思っています。

この競争と淘汰の中で生き残るためには、第1期中期目標・中期計画の実績の上に立って突き進むのは当然ですが、一方、今までにない厳しさを持って臨まなければならないことも、覚悟しなければならないと思われまます。

年頭にもかかわらず、かなり厳しいことを申し上げましたが、今、私達の大学は既に淘汰の渦の真只中にいるという認識こそが、大事なことであり、本学の将来は、この危機に対する教職員の意識にかかっていると思います。しかし、先程も申し上げました通り、本学には十分な基盤整備も進んできておりますので、これまでの実績から弘前大学の将来に対して、明るい希望を持つことができると思います。

恐らく、第2期中期目標・中期計画期間中に、厳しく起こるだろうと予想される国立大学法人のあり方の見直しと大学の淘汰にうち勝てるという明るい希望を皆様は持って、これからの一年と、更に第2期中期目標・中期計画期間に、力を尽くされますようお願いして、平成22年の年頭の挨拶とします。

平成22年 1月 4日

国立大学法人 弘前大学長
遠藤 正彦

平成22年度大学入試センター試験実施

平成22年度大学入学者選抜大学入試センター試験（本試験）が、1月16日（土）、17日（日）の2日間にわたり全国一斉に実施されました。県内では弘前大学、青森県立保健大学、青森公立大学、青森大学、青森大学田名部高等学校会場、青森中央学院大学、八戸大学、八戸工業大学及び北里大学獣医学部の9試験場で実施されました。

なお、本学が担当した大学入試センター試験（本試験）の志願者及び受験者は、次のとおりです。

◇平成22年度大学入試センター試験（本試験） 教科別受験状況

弘前大学試験場

担当学部：人文学部，教育学部

志願者数：1,420人

1月16日（土）	科目	公民	地理歴史	国語	外国語（筆記）	英語（リスニング）
	受験しなかった者	317	434	69	61	62
	受験した者	1,103	986	1,351	1,359	1,358
	受験率	77.7%	69.4%	95.1%	95.7%	95.6%

1月17日（日）	科目	理科①	数学①	数学②	理科②	理科③
	受験しなかった者	573	103	212	551	752
	受験した者	847	1,317	1,208	869	668
	受験率	59.6%	92.7%	85.1%	61.2%	47.0%

平成22年度大学入学者選抜大学入試センター試験（追試験）が1月30日（土）、31日（日）の2日間にわたり全国一斉に実施されました。平成22年度は新型インフルエンザの流行が拡大していることから、特例措置として追試験実施期日を当初の23・24日から30・31日に変更、追試験場を例年の全国二か所から各都道府県に拡大して設置し、青森県では本学を試験場として実施しました。

教育に関する表彰式を実施

本学では、平成21年度から、前年度において「教育に関して優れた業績を上げた教員」及び「成績優秀学生」を対象として表彰制度を導入し、1月15日（金）に事務局大会議室で表彰式を実施しました。

今回の受賞者は、教員7名、学生25名で、表彰式には、各学部長・研究科長も出席し、遠藤学長から一人ひとりに表彰状と、学生には副賞も贈呈されました。

これを受けて、教員を代表して保健学研究科の西澤教授から、「後世の評価に耐えうる教育をなせ、という叱咤激励の意味と受け取り、更なる研鑽と教育内容の充実に取り組みたい」、学生を代表して人文学部2年の三上 萩乃さんから、「このような賞をいただいたので、今後いっそう勉学に励み、努力していきたい」と謝辞が述べられました。



遠藤学長（前列右から5人目）と受賞者ら



遠藤学長（前列右から6人目）と受賞者ら

平成21年度 弘前大学成績優秀学生被表彰者一覧

【学部学生】

所属学部・学科等	学年	氏名
人文学部 人間文化課程	2年	三上 萩乃
人文学部 経済経営課程	3年	大久保 香織
人文学部 経済経営課程	4年	黒田 麻美
教育学部 学校教育教員養成課程	2年	工藤 有恵
教育学部 学校教育教員養成課程	3年	濱邊 光
教育学部 養護教諭養成課程	4年	笠井 麻由美
医学部 医学科	2年	是川 海
医学部 医学科	3年	奥瀬 由唯
医学部 医学科	4年	大高 由美
医学部 医学科	5年	本郷 恭子
医学部 医学科	6年	秋山 慎太郎
医学部保健学科 看護学専攻	2年	工藤 聡子
医学部保健学科 放射線技術科学専攻	3年	三浦 喬弘
医学部保健学科 検査技術科学専攻	4年	馬場 萌
理工学部 電子情報工学科	2年	鎌田 洋輔
理工学部 物質創成化学科	3年	相馬 有沙
理工学部 地球環境学科	4年	遠藤 由加里
農学生命科学部 分子生命科学科	2年	伊藤 祥子
農学生命科学部 応用生命工学科	3年	小林 葵
農学生命科学部 地域環境科学科	4年	千葉 文絵

◎人文3名、教育3名、医学科5名、保健学科3名、理工3名、農生3名、計20名

【大学院学生】

所属研究科・専攻等	学年	氏名
教育学研究科 養護教育専攻	2年	濱端美奈子
医学研究科 医科学専攻	2年	西澤尚徳
保健学研究科 保健学専攻	2年	渡邊繭子
理工学研究科 物質理工学専攻	2年	後藤勇貴
農学生命科学研究科 応用生命工学専攻	2年	陳星

◎教育1名、医学1名、保健1名、理工1名、農生1名、計5名

平成21年度 弘前大学における教育に関して
優れた業績を上げた教員の被表彰者一覧

【学部・研究科長推薦】

所属学部・研究科等	職名	氏名
人文学部 国際社会講座	准教授	柑本英雄
教育学部 教育保健講座	教授	太田誠耕
医学研究科 病理生命科学講座	教授	鬼島宏
保健学研究科 医療生命科学領域	教授	西澤一治
理工学研究科	教授	澤田英夫
農学生命科学部 地域環境工学科	助教	加藤幸

【学内共同教育研究施設長・医学部附属病院長等推薦】

所属学部・研究科等	職名	氏名
総合情報処理センター	准教授	佐藤友暁

■ 諸 会 議

▼役員会

1月5日（火）

審議事項

- 1 調査委員会の設置について
- 2 中期目標原案及び中期計画案について

報告事項

- 1 平成21年度学位記授与式及び平成22年度入学式について
- 2 弘前大学入学試験委員会規程等の一部改正について

1月12日（火）

報告事項

- 1 平成22年2月1日以降の新体制について

1月18日（月）

審議事項

- 1 国立大学法人弘前大学職員給与規程の一部改正について
- 2 平成21年度予算実施計画の変更について
- 3 国立大学法人弘前大学予算配分方針（案）について

報告事項

- 1 平成21年度第2次補正予算について
- 2 平成22年度予算内示について
- 3 平成23年度概算要求マッチングについて
- 4 大学入試センター試験について

1月19日（火）

審議事項

- 1 中期目標原案及び中期計画案について
- 2 平成21年度予算実施計画の変更について
- 3 国立大学法人弘前大学予算配分方針（案）について

1月25日（月）

審議事項

- 1 調査委員会の設置について
- 2 弘前大学学則の一部改正について
- 3 弘前大学大学院学則の一部改正について
- 4 弘前大学教員組織規程の一部改正について
- 5 国立大学法人弘前大学職員給与規程の一部改正について
- 6 弘前大学大学院保健学研究科規程の一部改正について

報告事項

- 1 法人のガバナンスに関するアンケートについて
- 2 弘前大学の経済波及効果について
- 3 平成22年度弘前大学特別研究員の採択（継続・新規）について

▼教育研究評議会

1月12日（火）

審議事項

- 1 中期目標原案及び中期計画案について
- 2 21世紀教育センター教員選考委員会の設置について
- 3 北日本新エネルギー研究センター教員の選考について
- 4 経営協議会学外委員について

報告事項

- 1 教員の人事について
 - (1) 教員の採用・昇任
- 2 平成21年度学位記授与式及び平成22年度入学式の日時・場所について
- 3 平成22年度総合文化祭実施に伴う平成22年度学年暦について
- 4 平成21年度弘前大学若手研究者支援事業の選考結果について
- 5 平成21年度弘前大学大型プロジェクト研究者支援事業の採択結果について
- 6 平成22年度第2回弘前大学国際シンポジウム助成事業の決定について
- 7 安全保障貿易管理について
- 8 放射性同位元素等の管理に関する外部評価の状況について
- 9 弘前大学北日本新エネルギー研究センターと大連理工大学能源研究院（中国）との研究協力に関する覚書の取交わしについて
- 10 委員会報告
 - (1) 21世紀教育センター運営委員会
 - (2) 学士課程教育協議会
 - (3) 教育・学生委員会
 - (4) 入学試験委員会
 - (5) 研究・産学連携委員会
- 11 その他
 - (1) 男女共同参画推進室の取組みについて

▼教育・学生委員会

1月27日（水）

審議事項

- 1 学生表彰について
- 2 平成22年度FD活動について
- 3 FD活動におけるポイント制について

報告事項

- 1 平成22年度学生便覧の作成について
- 2 平成21年度日本学生支援機構奨学生の追加推薦状況について

▼21世紀教育センター運営委員会

1月21日（木）

審議事項

- 1 21世紀教育センター長候補者の推薦について
 - 2 平成21年度後期末試験について
 - 3 平成22年度非常勤講師資格審査について
 - 4 平成22年度非常勤講師による授業計画について
 - 5 平成22年度ティーチング・アシスタントによる授業計画について
 - 6 平成22年度21世紀教育の運営等に係る経費について
-

報告事項

- 1 センター長報告
 - (1) 運営会議
 - (2) 教育研究評議会
 - (3) 学士課程教育協議会
 - (4) 高等教育研究開発室教員について
- 2 専門委員会報告
 - (1) 教務専門委員会
 - (2) FD・広報専門委員会
 - (3) 点検・評価専門委員会
- 3 各種委員会報告
 - (1) 教育学生委員会報告
- 4 科目主任会報告

新任教授紹介



農学生命科学部

張 樹 槐 (専攻：農業機械学)

張 樹槐 農学生命科学部准教授が、平成22年1月1日付けで、同学部教授に発令されました。

人 事 異 動

[採用]

発令年月日	現職(所属)	氏名	異動内容
平成22年1月1日		高橋 真道	一般職員(学情・学)
平成22年1月1日		間 山 恒	助教(医) [平成26年12月31日まで]
平成22年1月1日		佐々木 憲一	助手(医) [平成24年12月31日まで]
平成22年1月1日		伊藤 太平	助手(病) [平成26年12月31日まで]

[昇任]

発令年月日	現職(所属)	氏名	異動内容
平成22年1月1日	准教授(農生)	張 樹 槐	教授(農生)
平成22年1月1日	助教(医)	佐々木 真吾	准教授(医) [平成24年12月31日まで]

[配置換]

発令年月日	現職(所属)	氏名	異動内容
平成22年1月1日	主任(学情・学)	福 眞 吉 教	主任(学情・共)
平成22年1月1日	助教(病)	阿 部 直 樹	助教(医) [平成26年12月31日まで]

[職務付加]

発令年月日	現職(所属)	氏名	異動内容
平成22年1月1日	准教授(理工)	岩 谷 靖	男女共同参画推進室室員

[復職]

発令 年月日	現職(所属)	氏名	異動内容
平成22年1月1日	薬剤師(病)	西澤 三保子	職務復帰
平成22年1月12日	看護師(病・看)	渡辺 智恵	職務復帰

[育児休業]

発令 年月日	現職(所属)	氏名	異動内容
平成22年1月10日	一般職員(学情・学)	小石川 菜生子	平成23年1月10日まで
平成22年1月28日	看護師(病・看)	平塚 磨奈	平成23年3月31日まで

[離職]

発令 年月日	現職(所属)	氏名	異動内容
平成22年1月31日	理事	須藤 新一	任期満了
平成22年1月31日	理事	三浦 康久	任期満了
平成22年1月31日	教授(農生)	神田 健策	辞職

■ 主要日誌

- 1月4日 大学入試センター試験事務担当者説明会
- 5日 役員会
大学入試センター試験監督者説明会
- 6日 運営会議
教育研究評議会
学士課程教育協議会
学長と学生との懇話会
- 7日 大学入試センター試験監督者説明会
- 12日 運営会議
教育研究評議会
学士課程教育協議会
学長と学生との懇話会
- 13日 学長定例記者会見
大学入試センター試験監督者説明会
- 15日 大学入試センター試験設営
教育に関して優れた業績を上げた教員表彰式
成績優秀学生表彰式
- 16日 大学入試センター試験
- 17日 大学入試センター試験
- 18日 役員会
- 19日 経営協議会
経営協議会・教育研究評議会合同会議
- 22日 弘前大学創立60周年記念事業運営委員会と記念事業後援常任理事会との打合会
- 25日 役員会
- 26日 平成21年度総務部関係事務研修
- 27日 平成21年度総務部関係事務研修
教育・学生委員会
- 28日 平成21年度総務部関係事務研修
- 29日 大学入試センター試験追試験設営
- 30日 大学入試センター試験（追試験）
- 31日 大学入試センター試験（追試験）

■ 学内規則

(平成22年1月29日改正)

○国立大学法人弘前大学職員給与規程

以下の理由により、この規程の一部を改正した。

- ①小論文問題の点検体制の整備により新たに小論文点検委員を置くことに伴い、その職責等を考慮し、当該委員に対し入試手当を支給する。
- ②青森県において、義務教育等教員特別手当の額を引き下げたことに伴い、本学における義務教育等教員特別手当の額を引き下げる。

弘前大学学報第70号

弘前大学総務部総務課
036-8560 弘前市文京町1
電話 (0172)36-2111